

第 46 回クラシックを楽しむ会

2017 年 8 月 20 日（日）18:00～（2 時間 6 分、休憩除く）

タイトル：**歌劇「トゥーランドット」(プッチーニ)**

会場等：ブレゲンツ音楽祭 2015
ボーデン湖・湖上ステージ（オーストリア・ブレゲンツ）
2015 年 7 月 20, 22, 24 日

楽団等：ウィーン交響楽団
プラハ・フィルハーモニー合唱団
ブレゲンツ音楽祭合唱団

指揮：パオロ・カリニャーニ

演出：マルコ・アルトゥーロ・マレッシ

出演：ムラーダ・フドレイ（トゥーランドット）
ユ・ガンクン（リュウ）
リッカルド・マッシ（カラフ）
マニュエル・フォン・ゼンデン（皇帝）他



第 2 幕第 2 場、カラフに 3 つの謎を解かれ「死んだ方がまし」とトゥーランドット



第 3 幕第 1 場、リュウの死を悼むティムール

あらすじ

北京を舞台に、カラフ王子が、憎しみの心に包まれたトゥーランドット姫の三つの謎を解き、その氷のような心を溶かして「愛」を实らせる。

ブレゲンツ音楽祭 2015

ボーデン湖は琵琶湖を少し小さくして横にした形の湖。北側はドイツ、南側はスイス、そして東側がオーストリアの西端。湖畔のブレゲンツは人口 3 万に満たない小さな町。

ブレゲンツ音楽祭は湖上ステージと隣接するホールで開催される。トゥーランドット舞台制作には 1 年。龍をイメージした巨大な万里の長城、舞台装置、兵馬俑のレプリカなどを制作。舞台上にオーケストラ・ピットはない。オーケストラと合唱団はホールで演奏し、舞台上の歌手の音声を合わせて音響装置から音を出す。このため野外ステージながら雨天でも公演できる。（雨天の場合、ポンチョを 1 ユーロで販売している）



巨大なトゥーランドット舞台を 1 年かけて建設

第 47 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：**楽劇「サロメ」(R・シュトラウス)**

9 月 24 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

ダニエレ・ガッティ指揮ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団。「サロメ」は官能美の極みと極彩色の音楽の傑作楽劇。美女サロメ役はスウェーデンのソプラノ歌手マリン・ビストレム。艶麗で蠱惑的な「七つのヴェールの踊り」は必見。そして衝撃的なラストシーン！

10 月は「仮面舞踏会」、11 月以降「ワルキューレ」、「チャルダッシュの女王」など予定。

あらすじ

【時と場所】

伝説の時代、中国の北京

【主要人物】

トゥーランドット（杜蘭朵）	
リュウ	若い女奴隷、ティムールの召使
カラフ	ダッタン国王子、ティムールの息子
ティムール	ダッタン国を追われた盲目の魔王
ピン（大蔵大臣）、パン（内大臣）、ポン（総料理長）3大臣	
皇帝アルトゥーム	中国の皇帝、トゥーランドット姫の父

【第1幕】北京の城門の前

宮殿（紫禁城）の城壁前の広場。役人が群衆に「美しいトゥーランドット姫に求婚する男は、彼女の出題する3つの謎を解かなければならない。解けなければ斬首。謎解きに失敗したペルシア王子は月の出とともに処刑」と宣言、ペルシア王子が喝采する群衆の中を引き立てられてくる。

そこに戦に敗れて放浪中のカラフ王子が、盲目の父ティムールと、父を支える奴隷のリュウと再会する。カラフはペルシヤ王子処刑の場に現れたトゥーランドットを見て一目ぼれ、謎解きに挑戦を決意する。リュウはアリア「お聞き下さい、王子様」を歌って泣き崩れるが、カラフはアリア「泣くな、リュウ」と慰める。カラフは兆戦の合図でドラを3度叩く。

【第2幕】第1場 中国を象徴する模様のカーテンに仕切られた幕舎

ピン、パン、ポン3大臣による幕間狂言。「トゥーランドットが愛を知れば平和がよみがえる」と歌う。

【第2幕】第2場 宮殿の前の広場

トゥーランドットの父、皇帝アルトゥームがカラフに無謀な試みをやめるよう説得するがカラフは耳を貸さない。トゥーランドットが冷やかな表情で出てくる。

カラフの謎解きの場面。トゥーランドットは「先祖の美しいロウ・リン姫が、異国の男性に騙され、絶望のうちに死んだ。自分は彼女に成り代わって世の全ての男性に復讐を果たすため、求婚者に謎を出題して葬ってきた」とアリア「この宮殿の中で」を歌う。

第一の謎には「希望」、第二の謎には「血」、最後の謎にも「トゥーランドット！」と正答、人々はカラフを讃える。謎がことごとく打破されて「私は結婚などしたくない」と父アルトゥーム皇帝に泣きつくが、皇帝は「約束は約束」と娘を諭す。カラフはトゥーランドットに「それでは私も謎を出そう。明日の夜明けまでに私の名を知れば、私は潔く死のう」と提案。皇帝は「日の出とともにカラフは息子になる」と言い、人々は皇帝を讃える。

【第3幕】第1場 宮廷の庭

北京の街に「今夜は誰も寝てはならぬ。求婚者の名を解き明かさなければ皆死刑にする」の命令がでる。カラフは「夜明けには私は勝利するだろう」とアリア「誰も寝てはならぬ」を高らかに歌う。3人の大臣はカラフに名乗るよう迫るがカラフは拒否。そこに名前を知っていると思われるティムールとリュウが連行されてくる。トゥーランドットの間、リュウが命をかけて名前を明かさない理由をアリア「心に秘めた大きな愛です」と歌う。リュウは拷問を受け耐えられなくなってアリア「氷のような姫君の心も」を歌った後に自殺する。リュウの死を悼んで全員が去る。トゥーランドットとカラフだけが残され、カラフはトゥーランドットに口づけする。トゥーランドットの心が次第にやわらぎ、カラフの腕の中で涙を流してここを立ち去るよう頼むが、カラフは自分の名前を明かす。

【第3幕】第2場 王宮前の広場、翌朝

トゥーランドットは皇帝の前に進み出て「彼の名は”愛”」と宣言、カラフが駆け寄り二人は抱き合う。群衆は愛の勝利を高らかに賛美、皇帝万歳を歌い上げる。

歌劇「トゥーランドット」メモ

「トゥーランドット」は、ルイ 14 世時代のフランスの東洋学者フランソワ・ペティ・ド・ラ・クロワ（1653 - 1713）が書いた物語集「千一夜物語」※の中の「カラフ王子と中国の王女の物語」をもとに、イタリアの劇作家カルロ・ゴツィ（1720 - 1806）が書いたものである。台本はジュゼッペ・アダーミとレナート・シモーニの 2 人が劇と歌詞を分担して作成した。

※ほぼ同時代の同じフランスの東洋学者アントワヌ・ガラン（1646-1715）が有名なガラン写本「千一夜物語」を翻訳してヨーロッパに紹介したが上記とは別物である。しかし上記と同様のペルシャの「謎かけ姫の物語」を含んでいる。

歌劇の重要な役「リュウ」は原作にはない。台本に付け加えられた背景として、1909 年、プッチーニの妻が、プッチーニが女中と浮気していると責め立て、疑われた女中が服毒自殺、プッチーニの妻が起訴されるというスキャンダルとの関係が指摘されている。

初演時のエピソード

この歌劇は 1926 年、トスカニーニの指揮でミラノ・スカラ座で初演されたが、第 3 幕第 1 場の途中、「リュウ」が自刃した場面が終わると指揮を止め、聴衆に「マエストロはここまでで筆を絶ちました」と述べて舞台を去り幕が下ろされた。また、トスカニーニが開演前のファシスト党歌演奏を拒否したため、世界の要人が集まる中、ムッソリーニだけ欠席を余儀なくされた。

プッチーニとオルゴール

本公演の第 1 幕前、カラフ役のプッチーニが登場し、オルゴールの中国民謡を聞いてハッとする場面。実は「トゥーランドット」作曲を始めた 1920 年当時、プッチーニは生家近くの有名な温泉地バーニ・デイ・ルッカのファッシーニ・カモッシ男爵（外交官として長年中国に駐在していた）邸を訪ねた。プッチーニはそこで中国のオルゴールを聴いた*。

*ファッシーニの中国駐在当時、義和団の乱(1900)が起り、清国が欧米の帝国主義列強各国と日本に宣戦布告したが直ちに制圧され、西太后の地位と引き換えに莫大な賠償金を支払った。列強国の外交官が望むものは何でも戦利品として手に入った。なお、彼はアマチュア作曲家だった。

中国曲のオルゴール

世界オルゴール協会の 1 万点のリスト中に中国曲が入ったオルゴールは 13 点しかない。このうちイタリアで修理したオルゴール*がアメリカ・バージニア州の博物館にあり、6 曲の曲目からプッチーニが聴いた可能性が高いとされている。このうち 3 曲が「トゥーランドット」に取り入れられている。

*このオルゴールは「ハーモニフォン」でリード・オルガンが装着されている。

スイス製オルゴール

中国曲のオルゴールはスイスで少量つくられ中国の百貨店で売られた。オルゴール製作家一族のボベットというバイオリニスト・作曲家がフランスの副領事としてアヘン戦争当時の中国に駐在したとき中国曲を採集してスイスに持ち帰った。

中国民謡

「茉莉花 (モーリーホワ)」(ジャスミン) は「さくら・さくら」に相当する中国の代表的な愛唱歌。第 1 幕のアルト・サククス*を伴った修行僧の合唱、トゥーランドットのライトモチーフその他

*プッチーニが聴いたオルゴールのリード・オルガンの音色に似ている。

「十八摸 (シ・バ・モ)」(18 タッチ) は卑猥なためしばしば発禁になった俗謡。

皇帝を讃える場面の一部に出現

参考.

「十八摸」は、1904 年初演の「蝶々夫人」にも用いられていることが、最近このオルゴールから分かった。第 1 幕の蝶々さんが父親の死など自己紹介する場面とクライマックスの愛の二重唱、および第 2 幕開幕の「ハミング・コーラス」の場面。プッチーニは「蝶々夫人」作曲当時すでにこの曲を知っていたことになる！



茉莉花(ジャスミン)